

ひたちなか市議会だより

希望と願いを。

もくじ

No. 109

令和2年1月25日

新年のごあいさつ	2
審議案件の紹介	2
一般質問	3
討論、請願・陳情ほか	9
市民のこえ	10

新年のごあいさつ



議長
鈴木 一成



副議長
三瓶 武

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、令和2年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃より市議会運営に對しまして多大なるご支援、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今年はおリンピックイヤーであり、56年ぶりの東京開催となります。本市においてもベルギー代表の事前キャンプ地になっており、昨年の茨城ゆめ国体に続き、スポーツによる大きな盛り上がりが見込まれます。

私たち市議会も、昨年、ひたちなか市議会議員一般選挙が行われ、11月1日から新しい議会が始動したところであり、皆様に信頼される議会を目指し、議員一同さらなる努力をして市政を盛り立ててまいり所存でございます。

本年もなお一層のご支援ご協力をお願いいたしますとともに皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

ひたちなか市議会議員

井坂涼子	大内健寿	雨澤正	樋之口英嗣
萩原健	弓削仁一	三瓶武	井坂章
山形由美子	大久保清美	深谷寿一	武藤猛
宇田貴子	鈴木道生	海野富男	打越浩
山田恵子	大内聖仁	鈴木成一	(議席順)
北原祐二	薄井宏安	大谷一隆	
清水健司	加藤恭子	清水立雄	

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつとさせていただきます。

12月定例会で 次の案件が提出されました。

● 会期：12月5日～12月19日

今回の審議件数は

議案：10件（原案可決9件 同意1件）
陳情：1件（9ページを参照）
計：11件

今号ではこの中から3つを左に掲載します。

○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第114号〉 令和元年度一般会計補正予算(第4号)

「公立保育所施設整備事業」
待機児童の解消を図るため、今年度末に閉園となる高野幼稚園を活用し、0～2歳児を対象に行う小規模保育事業の整備に要する経費を新たに措置します。

「奨学金返還支援事業」
奨学金返還支援補助金について、昨年4月から申請を受け、順次補助の決定を行っています。今後、補助金の不足が見込まれることから、所要の経費を増額します。

〈議案第118号〉 ひたちなか市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について

平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の小・中学校を統合してつくる学校の校名が、万葉集の一説を引用して、三つの地区の美しい海を象徴する「美乃浜学園」に決まりました。



質問者

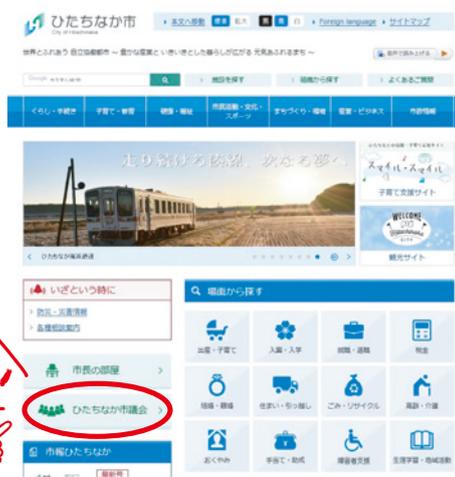


一般質問

- ① 山形由美子 議員
- ② 宇田 貴子 議員
- ③ 清水 立雄 議員
- ④ 鈴木 道生 議員
- ⑤ 樋之口英嗣 議員
- ⑥ 加藤 恭子 議員
- ⑦ 薄井 宏安 議員
- ⑧ 井坂 章 議員
- ⑨ 山田 恵子 議員
- ⑩ 大内 聖仁 議員
- ⑪ 大久保清美 議員
- ⑫ 海野 富男 議員
- ⑬ 弓削 仁一 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。

市の事業などについて、
執行状況または将来の方針、
課題などを議員が直接質問しました。



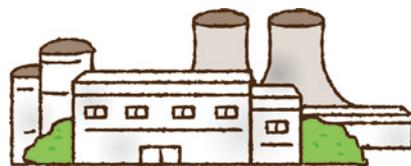
市ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>

市長 本市としては引き続き「原子力所在地域首長懇談会」の構成自治体と連携を図りながら、新安全協定に基づき、適正な対応を図っていききたい。東海第二原発の再稼働問題については、市民の安全・生活を最優先に極めて慎重に判断すべき問題であり、実効性のある避難計画を含め、市民の安全が確保されない限り再稼働はできないものと認識している。

問 東京電力は、東海第二原発再稼働の安全対策工事費2200億円の支援を取締役会で決めた。いよいよ本格工事が始まるが、大谷市長は再稼働の可否の判断など、どう対応しようと考えているか。

●東海第二の再稼働は認めないこと



①山形 由美子 議員

●市の積立金は暮らし・福祉に活用を

問 総務省は「積立金は優先的に取り組むべき事業への活用を図ること」と言っている。本市は多額な積立金を持っており、市民の暮らし・福祉の充実のために活用して、希望ある市政運営を図ってほしい。

総務部長 市では、これまで少子高齢化、人口減少社会を見据えた将来的な財政需要に 대응するため、事業の見直しや市債の抑制、決算剰余金の活用などにより財政調整基金や市債管理基金の積み増しを図ってきた。来年度からの中期財政計画においても社会保障関連経費や主要施策が多く控える状況にあり、多額の財源不足が想定される。今後も財源掘り起こしや基金などの活用により市民生活の向上に寄与する事業に取り組んでいく。



●避難所の環境・運営の改善について

問 台風19号接近に伴い市内の全域に避難所が開設されたが、高齢者、障がいのある方など早めの避難が必要な方ほど避難所に行くことを躊躇していた。避難所の在り方について、検討が必要ではないか。

市長 本市では、想定される災害ごとに、また、災害の状況や局面に応じて避難所を開設している。その際に、体育館での避難が難しい方には畳のあるコミュニティセンターを案内するなど、可能な範囲で対応している。今後も避難所開設が長期化する場合は、高齢者や妊産婦など配慮を要する方への対応をさらに工夫する必要があると認識するとともに、プライバシーの確保など含めて検討していく。



教育長 相談員が児童生徒と一緒に登校するなどの支援を金曜日に行っていたため、「いちよう広場」を開設していなかったが、登校するのが困難な段階の児童生徒にとって居場所となるように、年度途中から金曜日にも開設している。今後は、金曜日も「いちよう広場」を開設していることを保護者や児童生徒、学校職員に広く周知するように、パンフレットの内容などについても見直しを図っていく。

●不登校の子にも安心できる居場所を

問 不登校の子もたちにとって「いちよう広場」が安心できる居場所となるよう、金曜日の「学校チャレンジデー【※1】」を廃止し、通常どおりの開所日とすることを求めるがいかがか。



●地球温暖化対策について

問 我が国は、世界第5位の二酸化炭素排出国である。2030年度には、2013年度比26%の削減目標を掲げている。ひたなか市は、一地方自治体としてこの削減目標達成のためにどう取り組むか。

市長 地球温暖化の問題は世界規模の問題であり、自治体として取り組める範囲は限定的であると認識している。また、この問題に関しては、しっかりと次の世代へ引き継いでいかなければならないと考えている。環境問題を早い時点、子どものうちからしっかりと考えられるような、場づくりを確保していきたいと考えている。



建設部長 早戸川には、常設のポンプが設置されていないこと、また、堤防の一部が計画高より若干低い部分があったことが、越水の原因と推測される。今後の対策については、早戸川の管理者である県に対し、一般排水路の逆流防止対策、早戸川の嵩上げ、および常設排水ポンプと監視カメラの設置が必要であることから、11月5日に茨城県土木部長へ早戸川の嵩上げと常設排水ポンプの設置を緊急要望した。

●枝川地区堤内浸水の原因と今後の対策について

問 台風19号の関東地方上陸による枝川地区早戸川および鳴門川浸水の原因と今後の早急な対策について伺う。



早戸川（6号国道付近）越水の様子

●台風19号水害時の避難所について

問 枝川地区では日頃地域内の避難先として勝田二中を想定している方が多いと聞いた。今回、勝田二中は避難所として開設されなかったが、今回の経緯と今後の対応について伺う。

市民生活部長 避難所は洪水、地震、津波、高潮、土砂災害などの想定される災害ごとに開設する避難所を判断している。今回の台風19号に伴う那珂川沿岸部の洪水に対する避難先については、避難ルートも考慮したうえで決定した。今後地域住民が避難先と想定するような指定避難所がある場合は、市民と平時時から情報交換して開設していきたい。



枝川小学校付近浸水の様子

◀次ページに続く

市長は勝田駅前地区をどう考えるか

問 勝田駅東口側の駅前地区は市の玄関口として発展した。時代も変化し観光客など来訪者も多様化した。駐車場ばかりの現状、今後の公共施設見直しも控える。市長は地区の在り方をどう考えるか。

市長 本市では第3次総合計画の基本構想に基づき勝田駅前地区を含む中心市街地の土地利用について「商業機能の集積や、中高層住宅の建設などによる高度利用を促進し、にぎわいの創出を図る」とこととしている。今後も、商店街や地元企業など民間事業者や市民との役割分担のもと、まちの活性化に向けた取り組みを進め、にぎわいの広がりをまちの活力に繋げていきたい。



児童虐待防止について



問 東京都目黒区で起きた児童虐待、子どもの残した自筆の文「ゆるして…」は、涙を誘う。児童虐待は社会問題である。そこで児童虐待についての市長の見解と現況を伺う。

市長 主に虐待が家庭内で行われているため発見しづらいことや、起きてしまう背景に様々な要因があることなど、複雑化していることから、その解決は難しいとも認識している。虐待の未然防止や重篤化を防ぐためには、啓発活動を実施して市民に身近な問題として正しく捉えていただくことが必要である。虐待防止に向け関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。

問 今回の市議会議員選挙は、投票率が50%を下回った。この数字には危機感を感じている。原因はどこにあるのか。アンケートなどをして総括したのかを伺うとともに、投票率アップの対策について伺う。

選挙管理委員会委員長 投票率は、選挙時の政治状況や有権者の政治的関心の度合いなど、さまざまな要因が影響するものであることから、一概に評価することは困難であると認識している。主権者教育の重要性が改めて認識される中、「若者の政治意識の向上」や「将来の有権者である子どもたちの意識の醸成」など投票率向上に向けた取り組みを行っていく。



市役所内部の体制強化について



問 今後、自然災害はさらに大規模化されることが予測されている。災害時などに、迅速かつ的確に対応するためには、市役所内部の体制強化を図ることが重要であると考えがいがかか。

市民生活部長 災害時の初動体制や総合的な防災政策など専門知識を身に付ける研修へ担当職員を派遣している。また、全職員対象の防災セミナー開催や毎年の総合防災訓練での避難所運営や通信連絡訓練などにより、災害に対する意識と災害対応スキルの向上を図っている。

引き続き、関係各方面との連携を密にし、全職員で必要情報の共有体制を強化するなど、災害に迅速かつ的確に対応できる組織体制の充実に努めていく。

HPVワクチン【※2】の情報提供について

問 子宮頸がんを予防するHPVワクチンは、現在積極的な接種勧奨は控えられているが、接種対象者や保護者に対し、接種の呼びかけではなくワクチンの正しい情報を伝える必要があるのではないか。

福祉部長 当ワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を防ぐ効果があるが、本市では、接種の有効性とリスクを十分理解した上で接種が受けられるよう、窓口で保健師などによる説明を行っている。

今後も、国の最新情報やワクチンの説明が見られるようホームページを工夫するとともに、ヘルプラインやメールなどの内容を見直し、分かりやすい情報提供に努めていく。





茨城国体開会式の様子

●本市における茨城国体の成果について

問 45年ぶりに開催された茨城国体は、市民がおもてなしの心を持って、「オールひたちなか」として大会を盛り上げていただき、本市にて開催された実施競技は成功裏に終えたが、その成果を伺う。

市長 本市で開催された競技において、水泳では日本中学新記録のほか12種目で大会新記録が樹立された。また、サッカー女子では茨城県が第2位を獲得し、バレーボール成年女子では第3位を獲得した。さらに、陸上競技では、日本中学新記録および3種目で大会新記録が樹立された。茨城県は総合成績において、天皇杯、皇后杯を獲得し、非常に盛り上がった大会となった。

●国体後の本市のまちづくりの施策は

問 茨城国体が幕を閉じた今、本市が今後国体というレガシー(遺産)をどのように生かしていくか問われる。そこで、国体で得た貴重な経験を本市のまちづくりに生かすべきと考えるが見解を伺う。

市民生活部長 国体会場となった競技施設を有効活用し、国体が契機となったスポーツへの関心を絶やさぬようにしていく。また、幅広い年齢層が気軽に取り組めるスポーツとして、ヘルスバレー【※3】やノルディックウォーキング【※4】の普及を行ってきた。今後も国体後の体育施設を拠点とし、市民の健康づくりに寄与できるように新たな種目についても普及するように努めていきたい。



スマイルあおぞらバス (那珂湊駅前停車時)

●公共交通について

問 コミュニティバスの運行で、空白区である柳が丘地区では、買い物や病院に行くのに入って来て欲しいという要望がある。この地区への運行の考えを伺う。

企画部長 柳が丘団地にスマイルあおぞらバスの乗り入れの要望が多いことから、現在運行している7便のうち、買い物などの利用が想定される午前2便、午後2便の計4便を、柳が丘団地を経由するルートに変更したいと考えている。この運行ルート変更案は、ひたちなか市公共交通活性化協議会で承認されており、来年3月の変更を目指して引き続き調整を行っていく。

●障害者福祉の所得制限撤廃について

問 重度心身障害を抱えた子どもがいる世帯では、家庭での医療費負担が生活を圧迫している。本市の小児マル福では所得制限があり、医療費負担が重い。現状を直視して撤廃すべきと考えがいかかがか。

福祉部長 重度の障害をお持ちのお子さんの場合、重度障害者マル福の所得基準額で判定を行い、非該当の場合、より所得基準の上限額が高い小児マル福の基準で再判定を行っている。一定以上の収入がある方には応分の負担をさせていただく観点から、所得制限を設けることはやむを得ないと考えているが、引き続き国に対し子ども医療費助成制度について要望していく。



●買い物支援事業について

問 車を運転しない高齢者が増えている中、社会福祉法人と連携した「買い物支援事業」が本年7月より開始された。この事業の現状と実際に利用している方の声を伺う。

福祉部長 社会福祉法人が地域貢献事業の一環として、デイサービス送迎車両の空き時間を活用して支援している。現在は2事業者が2コースで実施し、年度内にはもう一つの事業者が行う予定でいる。多くの利用者から好評を得ており、今後も利用者の意見・要望をしっかりと把握して事業の改善につなげるとともに、他の地域へのさらなる広がりを呼び掛けながら、事業の促進を図っていく。



◀次ページに続く

●保育士の復職等支援 事業について

問 待機児童の解消に向けた取り組みとして、不足する保育士の確保が深刻化している。今年度より実施している保育所の職場見学ツアーや職場体験講習会の現状と今後の対応策を問う。

福祉部長 不足する保育士を確保するため、資格を持ちながら現在は働いていない潜在保育士を対象として、市立・民間保育所の見学ツアーや講習会を実施している。参加者のうち2名が民間保育所に正式採用される見込みとなった。市では引き続き、より多くの潜在保育士に事業活用してもらえよう周知を図るとともに新たな対策の検討などにより、保育士を確保するための施策の充実を図っていく。



●「子育て支援」 学童保育について

問 学童保育を30分間延長するだけで保護者は急ぐことなく子どもを迎えに行け、交通安全がより向上すると考えられる。現状4年生までであるが対象を6年生まで延長すれば、さらに充実すると考えるが市の考えを問う。

教育次長 本市公設学童クラブでは、保護者が迎えの時間に間に合わない場合、支援員の勤務終了時間である午後6時30分までは対応できる体制をとることを申し合わせている。保護者の方には交通事故などに注意しながら焦らずにきていただけるよう引き続き案内や対応に努めていく。また、対象学年について、5・6年生は自律性と社会性を身に着け、放課後みずから律し生活する必要があると考え、対象の学年を4年生までとしているところである。



●高齢者に対する 公共交通と乗り合い タクシーについて

問 県内、数多くの市町村が乗り合いタクシーを行っている中で、本市の高齢者のニーズに沿った公共交通に対する考えを問う。さらに特性に合った乗り合いタクシーなどの調査・研究の結果、進捗状況を問う。

企画部長 本市では、平成29年7月に策定した「ひたちなか市地域公共交通網形成計画」に基づき、「市民の誰もが気軽に利用できる公共交通体系」の実現を目指し、各種事業に取り組んでいるところである。また各地で実施している乗り合いタクシー事業について全国の事例を情報収集し、調査・研究を行っているが、地域固有の状況に応じた内容となっていることから、本市にそのまま当てはめることは困難であると認識している。



●ペットを連れて 行ける避難所

問 近年のペットブームを反映し、動物と一緒に避難を希望する人が増えている。動物アレルギーなどの問題もあるが、ペットを連れて行ける避難所の確保も必要と考える。市の対応を問う。

●実効性のある 避難計画について

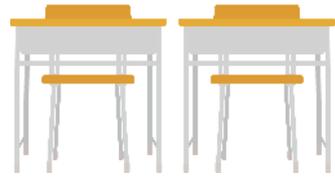
問 東海村の山田村長が雑誌対談の中で「段階的避難」は可能であり、UPZ【※5】の人たちには避難に際し十分な時間があるかのような発言をしているが、この点について市の認識を問う。

市民生活部長 市だけでは解決できない広域的な課題であり、茨城県では、避難時間シミュレーションや、放射性物質放出までの時間や拡散のシミュレーションを実施し、検証を行うと伺っている。本市としては、引き続き県主催の避難計画勉強会および内閣府の作業部会を通じ、情報共有を図りながら関係市町村と連携し、実効性のある広域避難計画策定に取り組んでいく。



市民生活部長 本市が開設する指定避難所では、飼い主と共に避難してきたペットの受け入れを行っている。その際リードやゲージなどを用いて、避難所の軒先など屋外スペースで管理することに了承いただいている。しかし、ペットの受け入れについては、動物アレルギーや鳴き声などにより健康問題や避難者同士のトラブルが想定され、課題が多い。今後対応を検討していく。





●不登校傾向にある児童生徒への対応について

問 1週間以上連続の欠席、保健室や校長室に通う教室外登校、1カ月以内に5日以上の遅刻早退がある「隠れ不登校」の実態と、学校における具体的な対応策について伺う。

教育長 欠席が10日以上30日未満の児童生徒は小学校で79名、中学校で126名、別室学習の児童生徒は、それぞれ24名、31名である。欠席が増え始めた児童生徒には家庭訪問を実施し本人などの悩みを聞き、寄り添いながら段階を踏んだ支援を行っている。また教室に入れない児童生徒には保健室などを活用し、養護教諭などが相談や学習支援を行い、昼間に登校できない児童生徒には、登校時間を相談し個に応じた支援をしている。

●「学校の働き方改革」について伺う

問 教員の働き方改革の柱の一つとして、労働時間を一年単位で調整する「変形労働時間制」が今後導入されるが、学校の働き方改革のこれまでの取り組みの成果と今後の課題について伺う。

教育長 各学校では定時退勤日の設定や会議時間の短縮化など工夫をしている。また校務分掌業務の平準化などにも取り組んでいる。これらにより教職員一人一人の働き方への意識が以前より高まってきており、超過勤務時間も減少傾向にある。課題としては、教職員の業務量の縮減が難しいことである。授業準備などのほか各種調査、欠席児童生徒への対応なども放課後に多いのが現状である。



那珂川・早戸川氾濫の様子

●台風19号について

問 本市でも台風により大きな被害が発生し多くの方々被災した。枝川地区を流れる早戸川をはじめとする那珂川の支川の越水原因と今後の対策について市の考えを伺う。

建設部長 那珂川上流部に記録的大雨が降り水位が上昇し、早戸川上流の那珂市でも総雨量129.5ミリメートルの大雨が降り水位が上昇した結果、早戸川から越水した。今後の対策として、一般排水路の逆流防止対策、早戸川の嵩上げおよび常設排水ポンプと監視カメラの設置が必要であり、関係各機関などへ緊急要望をした。

●高齢者福祉について

問 民間事業者の間では、福祉車両を移動手段として提供するサービスや訪問による買い物支援が開始されたが、その内容と今後の拡充方針について市の考えを伺う。

福祉部長 社会福祉法人新世会が週2回、地域のスーパー2カ所を目的地とした買い物支援を実施し、北養会は月2回、近隣スーパーへの買い物支援を実施している。克仁会も同様サービスを年度内に開始予定となっている。(株)セイブは戸別訪問による移動販売を7月末に開業し会員宅に週2回出向している。今後も市民への周知を図り、ほかの民間支援事業者とも協議しながら高齢者が安心して生活していけるよう推進していく。



用語解説

P4【※1】
学校チャレンジデー

学校への登校ができそうな段階にある児童生徒に対し、その背中を押すきっかけとして設定した日。

P5【※2】
HPVワクチン

子宮頸がんの主な原因ウイルス（HPV）・ヒトパピローマウイルスの感染を予防するワクチンのこと。

P6【※3】
ヘルズバレー（ボール）

千葉県流山市発祥の球技で、直径90cmの楕円形で柔らかいボールを男女3人ずつの混合チームでバレーボールと同じルールで競うスポーツ。ボールが予測外の動きをするため、面白さを体験しながら行われている。



P6【※4】

ノルディックウォーキング

フィンランド発祥で専用のポールを用いた歩行運動。季節を問わず簡単に全身的・効果的な有酸素運動ができるので、全世代間で人気が高まりつつある。

P7【※5】

UAN (Urgent Protective Zone)

緊急時防護措置準備区域の略称。原子力施設からおおむね半径30歳圏内で予防的な防護措置を含め、段階的に屋内退避、避難、一時移転を行う区域のこと。



討論

debate

12月定例会で採決に先立ち、次のような討論が行われました。

賛成

ひたちなか市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について、消費税増税分を考えればマイナスだが、わずかでも引き上げ分があるので一般職給与条例改定に賛成する。
以上、賛成討論とする。

反対

(議案第120号)あらたに生じた土地の確認についておよび(議案第121号)字の区域の変更については、大企業優先の開発税金の無駄遣いにつながるから、これ以上の開発の中止を求めて反対する。
以上、反対討論とする。



人事

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に、前嶋 仁一氏を選任することに同意しました。

請願・陳情

陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

採択となったもの

▽教育予算の拡充を求めることについて

意見書

「教育予算の拡充を求めることについて」意見書を内閣総理大臣ほか5機関へ提出しました。

措置内容

- 1 きめ細かな教育の実現のために、計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

請願・陳情とは

請願・陳情の提出方法

- ①原則として用紙はA4判を使用し、邦文を用いて横書きにしてください。
- ②請願(陳情)の件名、趣旨を記載してください。

市の行政に関する意見や要望があるときは、どなたでも請願書、陳情書を市議会に提出することができます。
請願は、憲法で認められた権利として、国民を始め広く人々が議会に対し自らの希望を申し出ることとをいい、提出には議員の紹介が必要で、
陳情は、請願とは異なり法的な根拠を持たないため、紹介議員は必要ありません。

※その他、ご不明な点については、議会事務局にお問い合わせください。

- ③提出年月日、請願(陳情)者の住所、氏名、(法人の場合は、その所在地、法人名、代表者名)を記載し、押印してください。
- ④代表者の方は、署名押印し、添付する署名簿には署名しないでください。
- ⑤請願には、必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要です。紹介議員の署名または記名押印を受けてください。陳情の場合、紹介議員は必要ありません。
- ⑥道路、排水路などの場所に関する内容については、現地調査を行うこともありますので、必ず案内図や略図を添付してください。
- ⑦内容が異なるときは、別々の請願(陳情)書を作成してください。
- ⑧提出は1部です。



市民のこえ

hitachinaka

勝田マラソン

石川町

佐藤 利恵子さん

勝田マラソンを数年前から沿道で応援しています。それまでは、見に行くことも無かった私ですが、友達が行くので応援に行くようになりました。楽しく走る方、苦しくても諦めず最後まで走る方様々です。

数年前、私も、あるマラソン大会に挑戦し、沿道からの温かい声援にとっても勇気づけられ最後まで走りきれた事を思い出します。

今年も微力ながらランナーの皆さんを沿道で応援したいと思います。



干し芋作りで

小さなコミュニティ

阿字ヶ浦町

井出野 洋子さん

今年も12月から、干し芋作りのパートに行っています。短い期間の仕事ですが、毎年楽しみにしています。

同年代の女性5名での職場は、とにかく、おしゃべりが尽きることはありません。家事・育児・旦那の事、話すことでスッキリするし、お知恵も拝借できます。これからも地域の特産品「おいしい干し芋」を作ることに誇りを持ち、心を込めて作り続けたいと思います。



次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20 <small>講義・研修締切り 正午</small>	21 <small>定例会告示 議会運営委員会</small>	22
23	24	25	26	27	28	29
3/1	2 <small>本会議 (開会)</small>	3 <small>本会議 (午後1時開議)</small>	4	5 <small>(議案調査)</small>	6 <small>(議案調査)</small>	7
8	9 <small>(議案調査)</small>	10 <small>本会議 (代表質問)</small>	11 <small>本会議 (代表質問・一般質問)</small>	12 <small>本会議 (議案採決)</small>	13 <small>本会議 (予備日)</small>	14
15	16 <small>予算委員会</small>	17 <small>予算委員会</small>	18 <small>予算委員会</small>	19 <small>予算委員会</small>	20	21
22	23 <small>予算委員会 (予備日)</small>	24 <small>3常任委員会</small>	25 <small>(事務整理)</small>	26 <small>本会議 (開会)</small>	27	28

議会を傍聴しませんか



本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください(273-0111内線4211)。

なお、本会議の開始時間は、午前10時です(日程が変更になる場合もあります)。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



編集手帳

2020年、新年最初の議会だよりの発行となりました。昨年11月から新体制の議会がスタートし、議会広報委員会も新たに7名が選任され、市民の皆さまに親しまれ、理解される議会広報を推進しています。昨年は流行語年間大賞に『ONE TEAM』が選ばれるほど、ラグビー日本代表が話題となり勇気と感動をもらいました。さらなる開かれた議会のために当委員会も『ONE TEAM』となり、身近に感じて頂けるような広報活動に努めてまいります。(北原 祐二 記)